

令和元年度 特別職報酬等審議会

(第1回審議会 要点筆記)

(令和元年12月19日開催)

令和元年度 第1回日田市特別職報酬等審議会  
《審議会議事録（要点）》

●日 時 令和元年12月19日（木） 14:00～15:10

●会 場 市役所4階庁議室

●出席者

(1) 委 員	杉野 義光	委員	梅木 哲	委員（職務代理）
	井上 營吉	委員（会長）	小野松 晋一	委員
	工藤 英明	委員	瀬戸 亨一郎	委員
	田邊 徳子	委員	原田 慎也	委員
	上原 英之	委員		

欠席者 1名

(2) 事務局 総務部長 総務課長 総務課主幹（総括） 総務課職員係主査

1. 委嘱状交付

代表して自治会連合会会長の井上營吉氏に交付

2. 市長あいさつ

本日は、公私共にお忙しい中、日田市特別職報酬等審議会にお集まり頂き、誠にありがとうございます。また、平素より本市、市政運営につきまして、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

前回、平成29年度に開催いたしました本審議会では、報酬額の据え置きへの答申とともに附帯意見として「報酬については、職責の重さ等を考慮すると、本来の報酬月額を支給されるべきであり、報酬のカットが常例となることは避けるべきであることから、減額措置については、その廃止について再考していただきたい」とのご意見を賜りました。本年8月より3期目の市政を預かることとなりましたが、3期目にあたり前回審議会のご意見を尊重し、副市長、教育長の報酬につきましてはカットを廃止するとともに、私の報酬につきましても、これまでの15%から10%にカット率の引き下げをさせていただいたところでございます。

さて、最近の報道では、地方公共団体の財政状況の厳しさがクローズアップされておりますが、本市におきましても、市町村合併後、続けられてきた地方交付税の優遇措置が本年度をもって終了することや、大規模災害からの復旧復興など、今後の財政運営に

はこれまで以上にしっかりとした将来見通しが求められております。

このような中、改めて、特別職及び市議会議員の報酬の水準やあり方について、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただく必要があると判断いたしましたところでございます。

つきましては、誠にお手数をおかけしますが、別紙諮問のとおりご審議を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

よろしく申し上げます。

(市長退席)

### 3. 会長選任及び職務代理者の指定

- ・委員の互選により、自治会連合会会長の井上營吉氏を選任
- ・会長が、職務代理者に梅木 哲 委員を指定

### 4. 会長就任のあいさつ

はじめに、当報酬審議会あてに原田市長から、議会の議員報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額の改定の必要性の有無、また、改定の必要がある場合、その適正額と改定時期について、諮問を受けたことによりまして、委員の皆様のご意見をいただきながら審議を始めてまいります。

ご存知のとおり、地方自治体を取り巻く経済情勢は厳しい状況にあることは、申し上げるまでもございませんが、そうしたなかで、日田市では、市長をはじめとする常勤の特別職の給料につきまして、平成18年4月の額改定後、現在に至っており、かつ、市長については、自主的に減額をおこなっていると聞いております。

前回の審議会から2年が経過しておりますことから、市内の経済状況や、他市の報酬額等を鑑み、事務局より提出いたします各種資料を参考とし、委員各位の慎重な審議をいただきたいと思います。

## ■審議会の進め方、答申までのスケジュールの確認

- ・第1回目の本日は、事務局より資料の説明、その後、審議。
- ・第2回目の審議会では、報酬額の改定の必要性の有無について方向性を決める。
- ・第3回目の審議会では最終的な答申内容を決定する。
- ・審議会では審議する内容は、公開とする。なお、要点筆記については、HP等に公開することに決定。

5. 資料の説明

令和元年度 日田市特別職報酬等審議会（第1回）

日田市議会資料

令和元年度 日田市特別職報酬等審議会資料（第1回）

6. 審議

<主な意見等>

発言者	内 容
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の確認ですが、一般職の日田市の給与額が大分市や別府市より高いように見えるが、これは大分市等は現業職等の給与が含まれている関係で安くなっている？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市は7級制の給料表を使用しており、4級以下が一般職となる。4級職に長くいるとその分最高額が高くなっている。他市の場合は4級職にいる期間が短いので、最高額は低くなっている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>他市が財政危機状況に陥っているという報道等があったが、地方交付税の特例措置は減縮されるのか？それとも廃止となるのか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>交付税は本来、合併した時点で日田市を一つの市としてみなして計算されるが、そうなりといきなり減ってしまう。そのため、優遇措置が10年間あり、合併しているが旧市町村ごとに計算した額をもらえることになっており、その後、5年間は段階的に減っていき、その優遇措置が今年度で終了するということ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>その地方交付税特例措置があつて10年間は財政状況のプラスになっているわけですね。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>はい</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>であれば、資料でその変遷を知りたい。なぜなら、市トップの報酬を決めるのに市の財政状況がどうであるかは、重要な要素になる。一般の会社であれば、赤字経営なのに社長だけが給料を上げることなどはあり得ない。交付税優遇措置がゼロになった場合の影響を明らかにし</li> </ul>

	<p>ていただきたい。</p> <p>もう一点、財政調整基金がいくら残っているのか？経常収支の比率がどうなっているかが把握できるような資料を出してほしい。それが、報酬等を審議するベースになる。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し補足ですが、本市の経常比率は94.9%となっており、他市では100を超えているという新聞報道がある。財政調整基金は本市は51億6千万円程度、杵築市は31億7千万程度、積立金の現在高は本市は155億、杵築市は90億程度となっている。いずれにしても、次回、資料を提出したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先程の梅木委員からの関連になるが、財政状況の将来の見通しを示してもらいたい。段階を追って考えていくためには、3年とか5年くらいまでの期間で財政調整基金がどのように変化していくかなどの資料を併せて提出してもらいたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、今後5年間の財政推計を作成しているので、併せて提出したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ最近、これだけ災害が起こっている中で、市の財政がどれだけ影響を受けているか、これにより通常の時よりも市の財政状況がどうなっているかというところが、今までは少し違った一つの指標になると思うので、そういったものがわかる資料も提出してほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の審議会でもありましたが、議員の報酬を考える際には、どうしても定数の問題がでてくる。総額で考える必要がある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員の定数については、資料に県内各市の定数を記載しており、参考として定数×月額報酬で総額を記載している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれにしても、財政状況がわからなければ、報酬額を上げる、下げる判断の基準がわからない。市の財政が潤っていれば出すべき。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょっと気になるのが、2年前、その前と同じように審議会があり、答申を出したが、結果的には何も変わっていない。この審議会の意義やあり方を考えないといけないのでは？</li> </ul> <p>ただ、今回はこの2年間で経済状況等の様子も違ってきているだろう</p>

	<p>し、退職金の話もあるようなのでいいのだが、この審議会の結果に重みを持たせなければいけない。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに前々回も同じような話があった。独自カットをしていることで、この審議会の答申が反映されないのではないかと。事務局としては、この審議会で、カット前の本来もらうべき額が妥当かどうかの審議をしていただきたい。今回もし、引き上げもしくは引き下げの答申ができれば、市長はそれを尊重し議会に提案することになるだろう。前回、前々回もどちらも据置きという答申であったので、審議会を開催したが、報酬額は変わっていないということになっている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前は、たしかほとんどの市町村が各首長の判断でカットをしている。首長同士で話をして統一的に決めているようなことがあるのではないか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市の首長と話し合っただけでカットしているということはない。あくまで市長自身の判断でカットしている。前回の答申や附帯意見がありましたので、今回、副市長、教育長のカットはやめている。ただ、市長の報酬額については市長自身の政策的な判断として、カットは続けるがカット率は下げるとしており、審議会の意見を尊重している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に対する歳出がどのくらいあるか、また市の財政にどのくらい影響しているか知りたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回、資料を提出したい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要は、私たちが危惧するのは、市の財政がどうであるかということ。他市との首長との比較ではない。今後、人口減が予想される日田市において税収がどうなるか。そういった基本的なことから考えていかないと、特別職の報酬額を決めていくのは難しいのではないかと。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回、そのところは詳しく説明していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政状況によって積極的に施策をしていけるかが決まる。他市のように、職員を減らしたり公共事業をしないようになるのはよくない。</li> </ul>

委員	・今回は報酬と、退職金も報酬に含まれるということで審議していくのか？
事務局	・諮問事項に退職金は含まれてはいないが、できれば意見として伺いたいと事務局としては考えている。
委員	・審議の対象としては議員の報酬も入っているということでよいか？
事務局	・はい。議員の報酬も対象です。
会長	・先に特別職の報酬を決めてから議員の報酬を決めていくのか？
事務局	・はい。先に特別職から決めていただくと有難い。
会長	・では、次回、財政の基本的な資料を提出してもらい、それを基に審議をしていく形をとりたい。 他に皆さんら質問等がなければ、事務局から今後の日程等を説明してもらいたい。
事務局	・次回以降については、第2回目の委員会を12月27日（金）14：00から、第3回目の委員会を1月9日（木）13：30からお願いできればと考えている。
会長	事務局から提案のあった日程でよろしいでしょうか？  （異議なしの声）
会長	・次回の審議では、報酬額の改定の必要性の有無などについて、方向性を出したいと考えていますので、よろしく願います。 では、本日はこれにて散会します。
15：10	終了

※本議事録は、事務局職員の要点筆記によるものであり、発言の一部については、委員の発言趣旨をそこなわない範囲で、表現の変更、また、不足している語句の補足など必要な加筆を行っております。